



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場会社名 日本ピグメント株式会社
 コード番号 4119 URL <http://www.pigment.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 龍巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 今井 信一
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6362-8801

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	10,221	△0.1	△28	—	△26	—	△37	—
27年3月期第1四半期	10,236	10.2	37	—	59	—	59	411.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △48百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 74百万円 (△80.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△2.40	—
27年3月期第1四半期	3.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	27,143	12,495	42.7
27年3月期	27,285	12,681	43.1

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 11,588百万円 27年3月期 11,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	8.00	8.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,100	1.1	100	6.0	100	△1.1	50	△38.3	3.18
通期	43,500	△1.4	530	119.1	540	125.5	300	37.4	19.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	15,758,994 株	27年3月期	15,758,994 株
28年3月期1Q	52,996 株	27年3月期	52,502 株
28年3月期1Q	15,706,369 株	27年3月期1Q	15,710,308 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当期の経営成績

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産に持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調が継続しました。

このようななか当社グループにおいては、国内での販売は、自動車産業向けは概ね予想通りに推移しましたが、家電産業向けの一部において想定を大幅に下回ることとなりました。また、東南アジア地区は域内全体で景気減速が広がり、各拠点で売上が伸び悩みました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は10,221百万円(前期比0.1%減)、経常損失は26百万円(前期経常利益59百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は37百万円(前期親会社株主に帰属する四半期純利益59百万円)となりました。

② 企業集団のセグメント別の状況

当社グループのセグメント業績は次のとおりであります。

日本

日本は、円安・株高が継続し、輸出関連企業を中心に企業収益の回復傾向がみられるものの、足許では自動車やスマートフォンなど、一部消費の低迷を背景に、在庫の積み上がりが持続しており、在庫調整が当面企業の生産活動の重石となる景気の下振れも懸念される不透明な環境となりました。

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチックを中心に比較的堅調に推移致しました。樹脂用着色剤部門は、国内需要が伸び悩む中、一部の自動車産業向けやトイレタリー関連が比較的堅調に推移したものの、家電産業向け等においての回復が想定には至らなかったことから、全体としては低調な結果となっております。最後に、加工カラー部門は、一部の自動車産業向けや建材産業向けは比較的堅調に推移しましたが、全体としては想定までには至りませんでした。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,808百万円(前期比2.1%減)、営業損失は28百万円(前期営業損失22百万円)となりました。

東南アジア

東南アジアは、中国経済減速の影響等で域内全体に景気減速が広がり、各拠点で売上が伸び悩みましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は為替の影響もあり4,156百万円(前期比4.3%増)となり、営業利益は7百万円(前期比85.5%減)となりました。

その他

その他は、中国経済減速の影響から日系自動車関連の受注が伸び悩み、当第1四半期連結累計期間の売上高が256百万円(前期比19.3%減)、営業損失は7百万円(前期営業利益7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は27,143百万円と前期末の27,285百万円に比べ141百万円の減少となりました。資産のうち流動資産は13,289百万円と前期末の13,437百万円に比べ148百万円の減少となりました。この主な要因は原材料及び貯蔵品が78百万円増加したものの、現金及び預金が227百万円減少したことなどによるものです。固定資産は13,854百万円と前期末の13,847百万円に比べ6百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が162百万円減少したものの、投資有価証券が165百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は14,648百万円と前期末の14,603百万円に比べ45百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は11,090百万円と前期末の10,821百万円に比べ268百万円の増加となりました。この主な要因は短期借入金が205百万円、賞与引当金が135百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定負債は3,557百万円と前期末の3,781百万円に比べ223百万円の減少となりました。この主な要因は長期借入金が282百万円減少したことなどによるものです。純資産合計は12,495百万円と前期末の12,681百万円に比べ186百万円の減少となりました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が182百万円増加したものの、利益剰余金が163百万円、為替換算調整勘定が192百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期における第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による
差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更
いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理
の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反
映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分へ
の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計
年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時
点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,601,339	2,373,611
受取手形及び売掛金	6,711,353	6,433,265
製品	2,132,739	2,103,347
原材料及び貯蔵品	1,609,497	1,688,210
その他	383,048	691,430
貸倒引当金	△835	△838
流動資産合計	13,437,144	13,289,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,077,234	2,993,489
土地	3,665,603	3,642,621
その他(純額)	1,812,500	1,756,666
有形固定資産合計	8,555,339	8,392,777
無形固定資産	46,524	45,799
投資その他の資産		
投資有価証券	4,625,492	4,790,759
退職給付に係る資産	132,895	147,246
その他	501,565	492,195
貸倒引当金	△13,865	△13,871
投資その他の資産合計	5,246,089	5,416,330
固定資産合計	13,847,953	13,854,907
資産合計	27,285,097	27,143,933
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,694,369	5,628,322
短期借入金	3,876,908	4,082,020
未払法人税等	73,731	80,160
賞与引当金	197,852	333,499
その他	978,829	966,634
流動負債合計	10,821,691	11,090,638
固定負債		
長期借入金	2,608,178	2,325,364
繰延税金負債	746,097	794,679
役員退職慰労引当金	71,848	76,558
退職給付に係る負債	355,293	361,304
固定負債合計	3,781,417	3,557,905
負債合計	14,603,108	14,648,544

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,047,700	1,047,700
利益剰余金	8,104,031	7,940,531
自己株式	△15,799	△15,925
株主資本合計	10,617,091	10,453,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,074,953	1,257,747
為替換算調整勘定	220,757	28,100
退職給付に係る調整累計額	△162,153	△151,173
その他の包括利益累計額合計	1,133,557	1,134,675
非支配株主持分	931,339	907,247
純資産合計	12,681,988	12,495,388
負債純資産合計	27,285,097	27,143,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	10,236,057	10,221,494
売上原価	9,486,804	9,508,995
売上総利益	749,252	712,498
販売費及び一般管理費	711,605	741,118
営業利益又は営業損失(△)	37,647	△28,619
営業外収益		
受取利息	2,398	3,277
受取配当金	26,538	31,437
持分法による投資利益	12,037	21
その他	36,141	14,606
営業外収益合計	77,115	49,342
営業外費用		
支払利息	25,115	24,786
為替差損	3,207	11,345
その他	27,267	10,885
営業外費用合計	55,591	47,017
経常利益又は経常損失(△)	59,171	△26,294
特別利益		
固定資産売却益	60,925	104
特別利益合計	60,925	104
特別損失		
固定資産除売却損	13,787	334
特別損失合計	13,787	334
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	106,309	△26,524
法人税、住民税及び事業税	79,573	50,491
法人税等調整額	△37,773	△33,492
法人税等合計	41,799	16,999
四半期純利益又は四半期純損失(△)	64,509	△43,524
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5,047	△5,676
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	59,461	△37,847

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	64,509	△43,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106,062	182,794
為替換算調整勘定	△71,780	△131,426
退職給付に係る調整額	11,655	10,108
持分法適用会社に対する持分相当額	△36,192	△66,774
その他の包括利益合計	9,744	△5,298
四半期包括利益	74,254	△48,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,280	△36,730
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,026	△12,092

(3)【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,934,561	3,983,730	9,918,291	317,765	10,236,057	—	10,236,057
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43,673	—	43,673	—	43,673	△ 43,673	—
計	5,978,234	3,983,730	9,961,965	317,765	10,279,731	△ 43,673	10,236,057
セグメント利益又は損失(△)	△ 22,752	52,996	30,243	7,403	37,647	—	37,647

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,808,736	4,156,275	9,965,012	256,482	10,221,494	—	10,221,494
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,564	—	39,564	—	39,564	△ 39,564	—
計	5,848,300	4,156,275	10,004,576	256,482	10,261,058	△ 39,564	10,221,494
セグメント利益又は損失(△)	△ 28,907	7,668	△ 21,238	△ 7,380	△ 28,619	—	△ 28,619

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。